



大樹のこころ

プチ行事

本校は、他校に比べてプチ行事が多い学校だと思います。異学年交流も盛んですし、特色ある家康学習も行われています。また外部講師を招いての出前授業も活発に行われています。

本日は、2年生がダスキンの方をお呼びして「清掃」の学習に取り組みました。掃除の仕方が学びになるのかと思われるかもしれませんが、本職の方の指導はすごい。最初に講義形式で、子供たちに「掃除をする意味」から教えてくださいました。掃除は「快適」「長持ち」「健康」のために行うものとか。話を聞いていて納得です。その後、子供たちは箒の使い方や雑巾のかけ方などを体験を通して学んでいきました。



このようなプチ行事は、他学年でも盛んです。11月には移動動物園が来校し1年生の子供たちが多くの動物と触れ合いました。動物との触れ合いというと小さな生き物が対象とイメージしますが、この日の移動動物園は違います。フクロウやヤギ、さらにはニシキヘビといった大きな動物がいっぱいでした。大きなニシキヘビに臆するところが、嬉々として触れ合う子供たちにちょっとびっくりしてしまいました。



異学年交流でもたくさんの行事が設定されています。特に1年生と6年生の交流が盛んで、季節ごとに交流活動が行われています。最近では12月にクリスマス交流会が行われ、笑顔あふれる温かな様子が見られました。こうして心を涵養する教育も行っています。



家康学習でもプチ行事が行われます。先日の授業参観では、4年生が保護者の皆様の前で、これまで学んできた内容を寸劇で発表しました。また大樹寺の執事を学校に招いて、家康公にまつわる講話をしていただくこともしばしば。今年度はすでに2年生・5年生・6年生がお話を聞いています。2年生・3年生の間でも交流が進み、上学年が下学年に家康公の功績を教えていきます。家康学習の集大成は、6年生が2月に行う大樹寺っ子ガイド。それに向けて準備が着々と進んでいます。



支援クラスの子供たちも、とよた科学体験館に校外学習に出かけまし

た。事前に電車の乗り方や公共マナーについて学び、見学当日には立派な姿であったと担任の先生方から聞いています。このように本校は、本当に子供に身につけさせたい力は何かを考え、プチ行事を数多く行っているのです。



本日「校舎改修工事の方に感謝する会」が行われました。工事の中で、子供に怪我がなかったことに感謝しています。新しくなった校舎で、ますます勉強に運動に頑張っていきます。ありがとうございました。